

# 広報あつま

## 2017年 1月号

平成29年

### もくじ CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3 年頭のごあいさつ
- 4-5 2016年を振り返る
- 6-7 民生委員・児童委員
- 8-10 平成28年第4回定例町議会
- 11 あつまでいきる
- 12-13 お知らせ
- 14-15 12月のあつま
- 16 地域おこし協力隊、作品紹介
- 17 厚高インフォメーション  
クラス自慢
- 18 防災コラム、气象台ノート
- 19 健康情報
- 20 保健の掲示板
- 21 子育て支援センター
- 22-25 情報ひろば

### 今月の表紙 COVER

12月15日、こども園つきき(油谷諭園長)のきりん組園児が総合ケアセンターゆくりで収穫祭を行いました。自分たちが育てたお米でおにぎり等を作った後、稲わらを使ったしめ縄作りに挑戦。ボランティアの方や父母、先生と一緒に、力いっぱい縄をねじって編んでいました。



## ひとのうごき

12月15日現在 ( )内は前月比

人口 4,672人(±0)  
男 2,290人 女 2,382人

世帯数 2,142世帯(+2)

### 誕生おめでとう

### お悔やみ申し上げます

※窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています

12月1日~12月15日届出分

### みなさんの声をお聞かせください

- ・こんな記事を読んでこう思った
  - ・こんな疑問をもっている
- など、どんなことでも結構です。

※紙面は無記名ですが、住所や氏名、年齢は伺います。

まちづくり推進課  
☎ 27-3179 ☎ 27-2328

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/>  
※トップページの左側に「広報あつま」のバナーがあります。

## 田園回帰1%戦略を実践し 人口減少に立ち向かう

厚真町長 宮坂尚市朗

2017年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお喜び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、本町が明治30年の戸長役場設置から120年の節目を迎え、9月には厳かに記念式典・祝賀会を開催し、先人の先達への感謝の誠を表し、新たな飛躍への決意を誓ったところでございます。第4次厚真町総合計画、第7次厚真町農業振興計画、厚真町教育振興基本計画など、まちづくりの指針となる各種計画がスタートした節目の年でもあり、平成27年度に策定した地方創生総合戦略の実践と本町の持続的発展に向けてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

上厚真地区では宮の森こども園、厚南児童会館が完成し、本郷地区では新たに小規模多機能ホーム「ほんごう」が間もなく完成するなど、福祉施設の充実を図ってまいりましたが今後はさらに、子育て環境の充実とともに包括ケアシステムなどの早期構築を目指してまいります。このほかに、子育て支援住宅の増棟や「きりたんぽ屋」の「フオーラムビレッジ」の分譲も堅調であり、本町の注目度が増してきていると感じています。

厚幌ダム建設工事は今年の秋から湛水実験が開始され、関連する厚真川の改修工事、国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業などの生産基盤整備も着実に進められており、統合簡易水道の建設状況も含めて町民の悲願であった水害の



ない安全で安心な町の実現と、効率的で汎用性の高い生産基盤が整いつつあります。TPPを取り巻く国際情勢は一気に流動化しており、新農政への転換を急ぐ国政下において主業農家の不安は尽きませんが、安全で安心な生産体制の確立や消費者の信頼と評価を高める不断の努力が大切です。

規模の経済や大規模・集中型都市社会の限界や脆弱性が指摘される中、循環型田園社会の価値が再評価されてきています。全国町村長大会において「暮らしを中心とした地方の豊かさやかけがえのない自然環境が脱工業化社会の受け皿にならない自然環境が脱工業化社会の受け皿にならない」と東京大学の神野直彦名誉教授が、げきを飛ばされてきました。まさに、生産空間と生活空間、自然環境に恵まれた本町の潜在力が拡充されつつある中、「人を育て・人を残し、豊かな森と海、輝く田園を次世代へ」を普遍的テーマとして「田園回帰1%戦略」を着実に実践し、押し寄せる人口減少社会に立ち向かってまいりたいと思います。

厚真町にとって2017年が大いなる飛躍の1年となるよう、また、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

## 年頭のごあいさつ

## 信頼と付託にこたえ 議会を目指して

厚真町議会議長 渡部 孝樹



町民の皆さま、明けましておめでとうございませう。

昨日を顧みますと、九州熊本地方の地震など悲しい出来事もありましたが、リオデジャネイロ・オリンピック/パラリンピックでの日本人選手の活躍など明るい話題もありました。北海道では、待望の北海道新幹線が開業し、今後の本道経済および産業の発展がますます期待されることとあります。また、北海道日本ハムファイターズが10年ぶりの日本一となった明るいニュースがあった一方で、本道へ上陸した3つの台風と低気圧からの前線による降雨で農地の浸水や道路などの損壊等、産業や生活基盤に甚大な被害が生じました。

本町では、日照不足や大雨、台風の影響により、主要作物は総じて減収と品質低下があるなど、6年ぶりに作況がすぐれない出来秋となりました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、今年は豊穰の秋になりますようお祈りいたします。

昨年、厚真町120年を迎え、町民の皆さまと一緒に節目を祝い、先人の苦勞を讃え、本町のさらなる発展を誓ったと

ころであります。本町を取り巻く環境は、人口減少問題など多くの課題を抱えておりますが、「第4次厚真町総合計画」が策定され、本町の魅力を生かした特色あるまちづくりを進めていくためには、町議会の果たすべき役割はますます重要になっており、町政を取り巻く環境の変化を的確にとらえ、議員一人ひとりが不断の努力を重ね、町民の皆さまの信頼と付託に応えることのできる議会を目指して全力で取り組む決意でありますので、本年も相変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。お願いいたします。